

平成20年5月30日
株式会社整理回収機構

住専勘定の二次損失について(平成8～19年度)

二次損失 10,671億円	2分の1 5,336億円	簿価超回収 2,083億円(注2)	} 損失補てん助成金 (政府の補助金の額の範囲内で 預金保険機構より交付)	
		3,252億円		
	2分の1 5,336億円	収納済助成金 1,304億円		} 基金助成金(注3) (金融安定化拠出基金より交付)
		未収助成金 4,183億円		

(注1) 各数字は億円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しないことがある。
(整理回収機構の貸借対照表、損益計算書は、億円未満を切り捨てて表示。)

(注2) 国庫納付金35億円を除く金額。

(注3) 不稼動資産にかかる借入金利息相当額に対する助成金151億円を含んだ金額。

<平成19年度住専勘定B/Sと参考図の「損失補てん助成金」との関係について>

当期の住専勘定の貸倒引当金（注）は3,318億円である。

一方、これまでの営業上の利益（「貸出金利息+資金運用利息+その他利益」「借入金利息+営業経費等」）を累計すると2,807億円となる。

との差額511億円が貸倒引当金に対する資金不足額となるが、これと参考図中の損失補てん助成金相当額3,252億円を合わせた3,763億円が住専勘定のB/S上の繰越損失となる。

また、繰越損失額と資本金2,000億円をネットした1,763億円が当期における住専勘定の債務超過額となる。

（注）貸倒引当金は、個別債権の状況等により、回収不能となった場合に備え、見込み額を計上したもの。

なお、RCCは国民負担の最小化のため、回収等に最大限努力を行っているところであり、今後の回収状況次第では貸倒引当金の戻入が発生しうることから、当該引当金相当額の貸倒れが確定しているものではない。